

# 令和3年度 第5回 ネット・モニターアンケート

## 東日本大震災被災地支援活動について

### ■アンケートの趣旨

名古屋市では、平成23年3月11日の東日本大震災の発生直後から被災地への職員派遣を行っており、令和3年度も岩手県陸前高田市へ職員を継続して派遣しています。今回のアンケートは、東日本大震災から約10年6か月が経過した今、被災地支援及び陸前高田市との交流の取り組みなどについて、市民の皆さまがどのように考え、評価されているのかをおたずねし、今後の支援等の参考とするものです。

### ■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：必須 ・選択数1つ	Q3：必須 ・選択数1つ	Q4：必須 ・選択数1つ
Q5：必須 ・選択制限なし	Q6：必須 ・選択数1つ	Q7：任意 ・自由記載	

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

### ■アンケート実施期間

令和3年9月17日（金） から 令和3年9月27日（月） まで

### ■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数：500人 回答数：467人 有効回収率：93.4%

### ■問い合わせ先

調査テーマに関すること  
防災危機管理局 危機対策室

電話：052-972-3585 FAX：052-962-4030  
E-Mail：a3585@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること  
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3140 FAX：052-972-3164  
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

# 回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

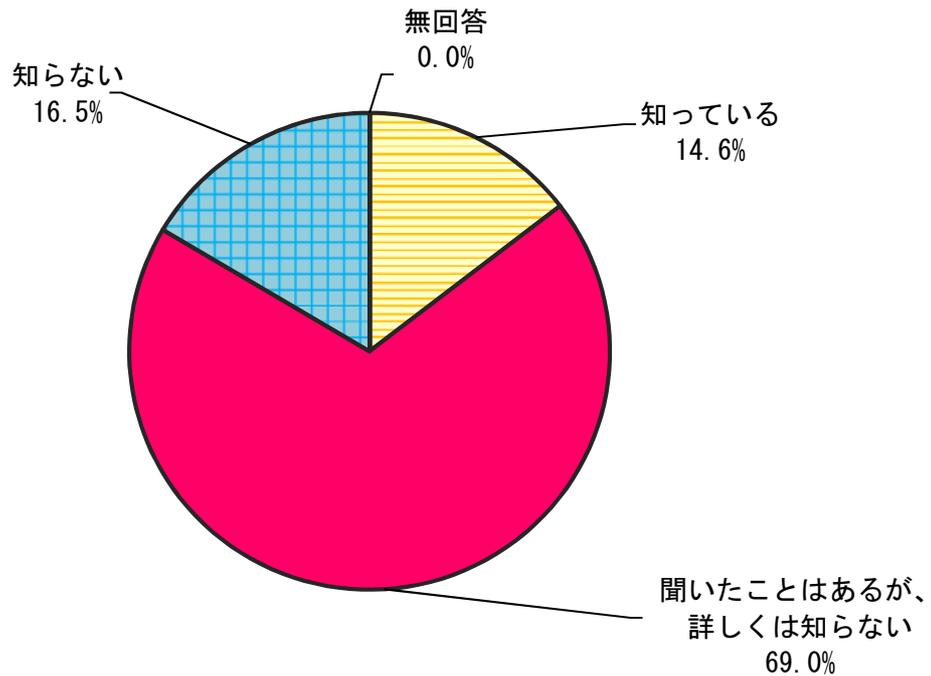
関連リンク

○名古屋市の被災地支援の取り組み（名古屋市公式ウェブサイト）

<http://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000035781.html>

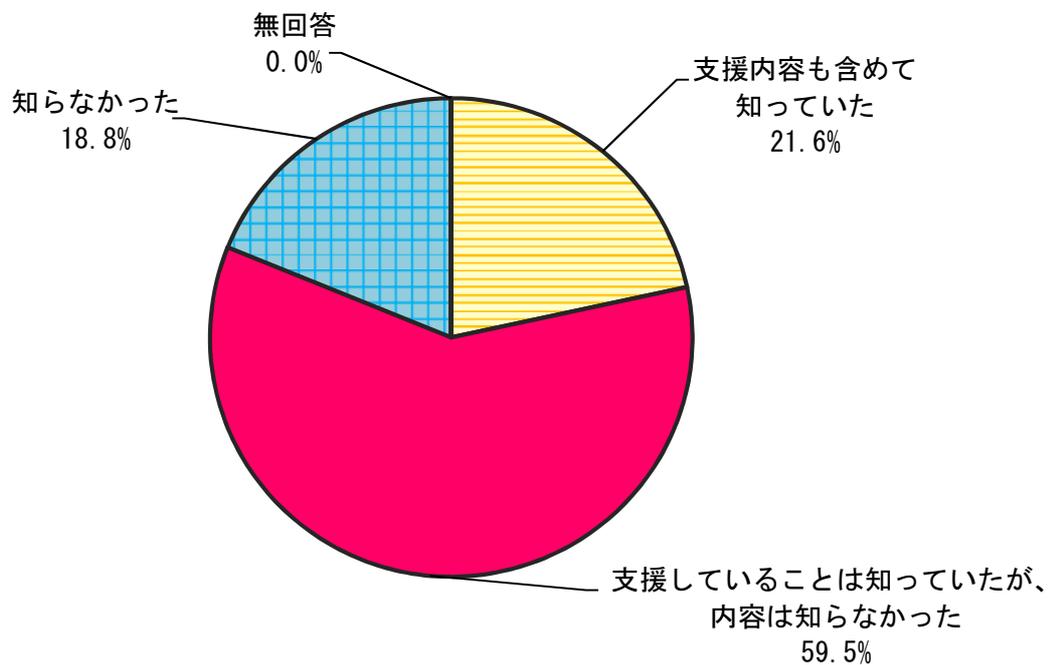
Q 1 【※必須】あなたは、現在の被災地の復興状況を知っていますか。（選択は1つ）

N = 467



Q 2 【※必須】あなたは、本市の被災地支援の取り組みを知っていましたか。（選択は1つ）

N = 467



<被災地域への職員派遣について>

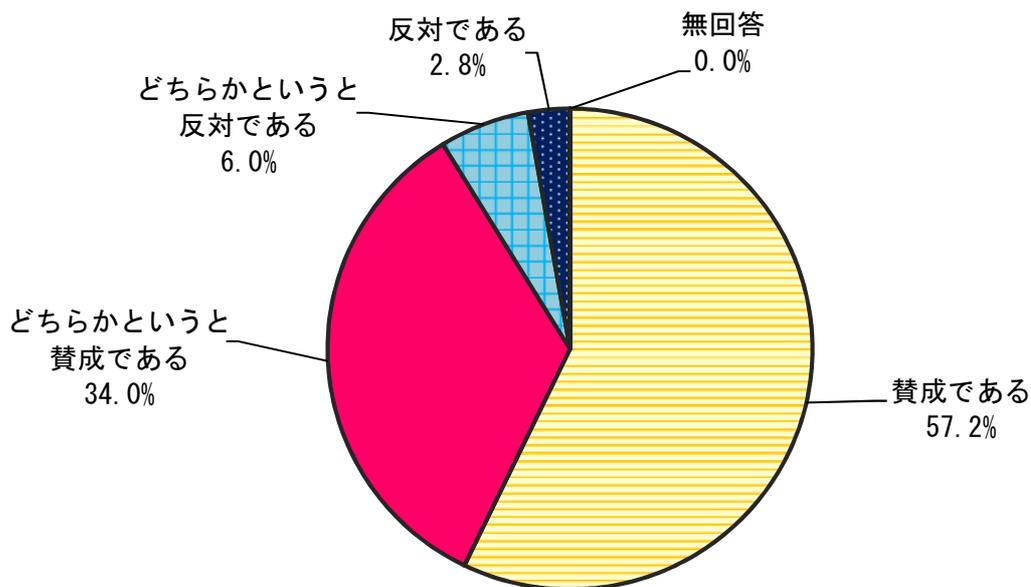
名古屋市では、陸前高田市“行政丸ごと支援”を掲げ、震災直後から被災地のニーズに対応して、業務に精通した職員を派遣しています。

陸前高田市では、平成30年度までを復興期間と定めた震災復興計画に沿って復興事業を進めてきましたが、一部かさ上げ工事などが計画通りに進まず、今年度は土地区画整理事業における換地処分（※）を実施するなど、一刻も早い復興に向けて現在も支援を必要としています。  
 ※区画整理事業によって従来その区画に土地を所有していた人に新しく土地を割り当てること。

○【参考資料】派遣職員の今年度およびこれまでの業務内容・職員派遣実績

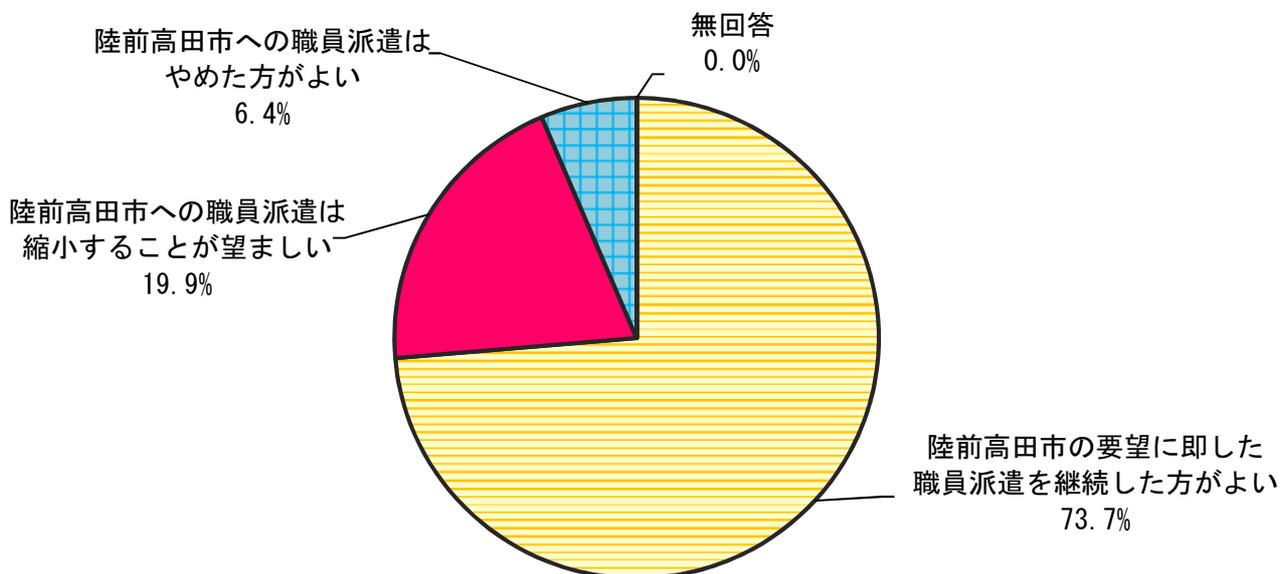
Q3【※必須】 現在、名古屋市が被災地へ職員派遣していることについてどう思いますか。  
 （選択は1つ）

N=467



Q4【※必須】 来年度以降の名古屋市の陸前高田市への職員派遣についてどう思いますか。  
 （選択は1つ）

N=467



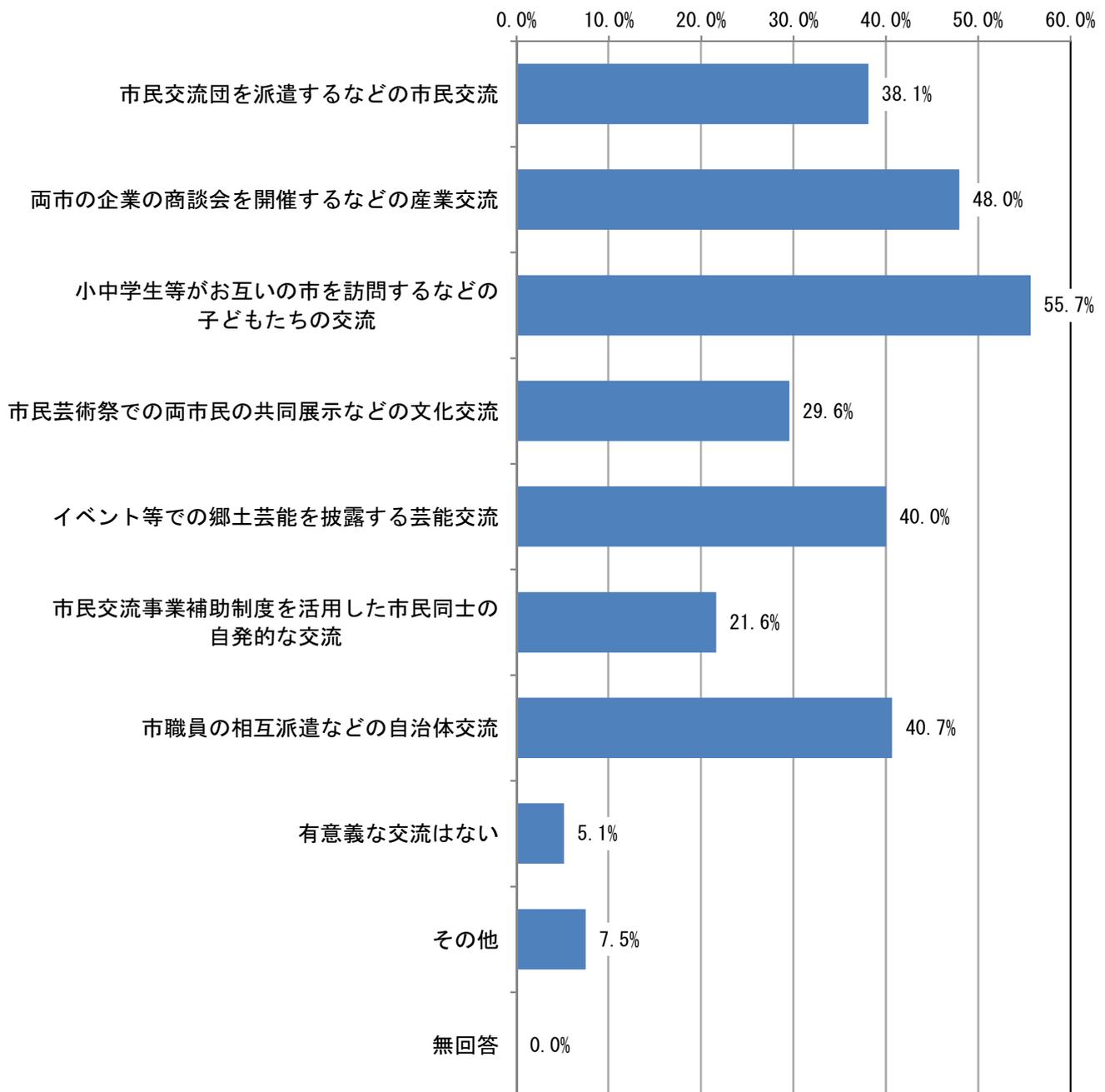
<陸前高田市との交流について>

名古屋市と陸前高田市は名古屋市の行政まるごと支援が縁となり、強い信頼関係のもと、両市の交流が末永く続けられるよう、平成 26 年 10 月 28 日に友好都市の協定を結びました。

名古屋市では、陸前高田市の復興の進展に合わせて、陸前高田市への支援から、名古屋市と陸前高田市の間での双方向の交流へと進めていきます。

Q5 【※必須】両市の友好都市としての交流が末永く続けられるために、あなたは、どの交流が有意義だと思いますか。(選択はいくつでも)

N=467

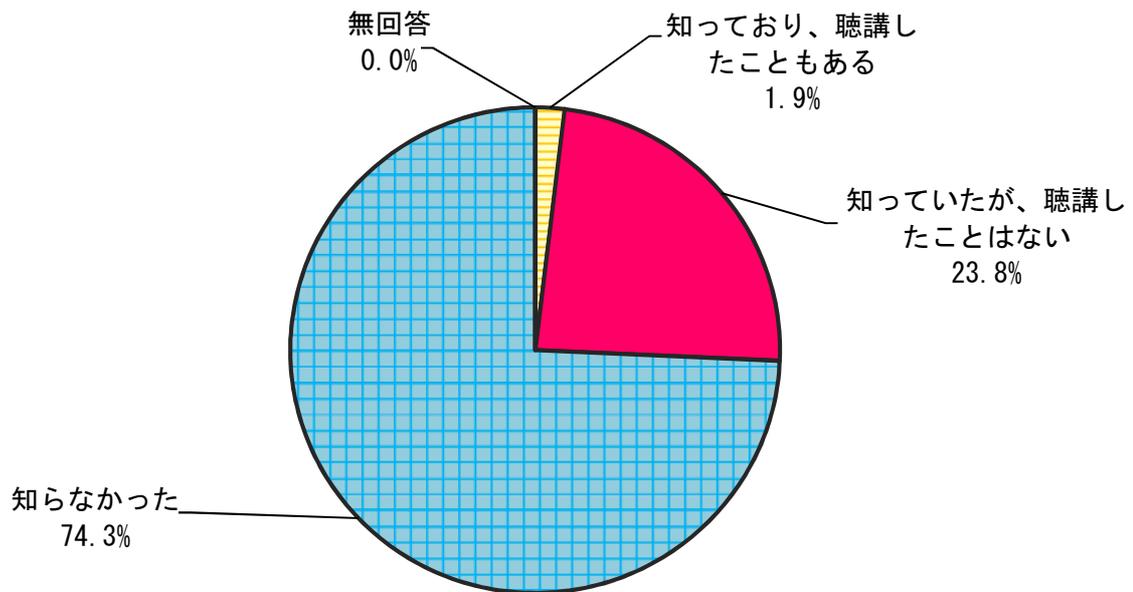


<被災地派遣職員等による講演会について>

本市では、被災地への支援によって得られた教訓や経験を名古屋市に還元するために、職員間で情報を共有して本市の防災施策に活かしているほか、市民の防災意識の向上を図るため、被災地派遣職員等による講演会などを実施しています。

Q6【※必須】あなたは、被災地派遣職員等による講演会を実施していることを知っていましたか。(選択は1つ)

N=467



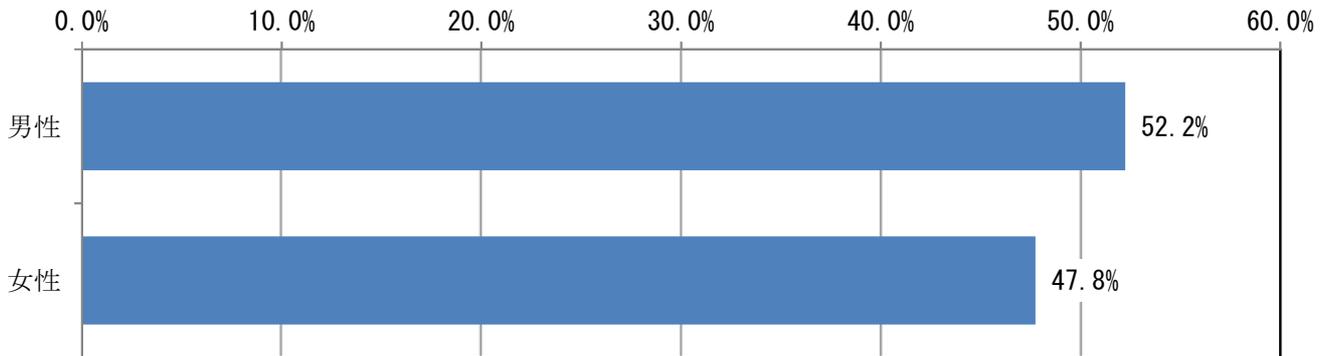
Q7 東日本大震災の被災地支援活動に関してご意見があればご記入ください（自由記載）

- ・いつ名古屋市が被災地になるかもしれないので、どこの被災地であっても助け合いのような支援活動はしておいた方がいいと思います。決して見返りという意味ではありませんが、人の情というものは大切なものだと考えています。  
もう高齢となってしまいましたが、私でもできる支援活動があれば、ぜひ協力したいと思っています。
- ・まだ被災地支援活動が続いていると知らない人がいるのではないのでしょうか。内容ともども少なくとも名古屋市民に、きちんと知らせた方がいいと思います。
- ・震災からかなり時間が経って、被災地支援の中身やあり方も被災地復興状況に伴って変化してくると思います。  
その時々求められる必要な支援を的確にできるように状況の正確な把握や分析を続けていっていただきたいです。
- ・自治体の規模や、歴史文化、産業構造の違いがありますが、継続して交流することによって、例えば東海・東南海地震への備えなど、お互いに有意義なことはあると思います。陸前高田にふるさと納税をしています。それによっていろいろな情報が届きます。特産品なども知りました。コロナでしばらくかないませんが、将来直接陸前高田に行ってみたいとも思っています。今後も支援・交流が続くことを願います。
- ・東日本大震災の復興にかかる活動に従事されている本市の職員のみなさまにおかれましてはこれまでお疲れ様でしたと申し上げたいです。この方々にも大切な家族がおられ、復興にかける熱意もさることながら、やはりご家族のことが頭から離れることはなかったと思います。できる限り継続した方がよいとは思いますが、ほんとうにできる範囲で無理しないでいただきたいなと思っております。

## ■属性集計

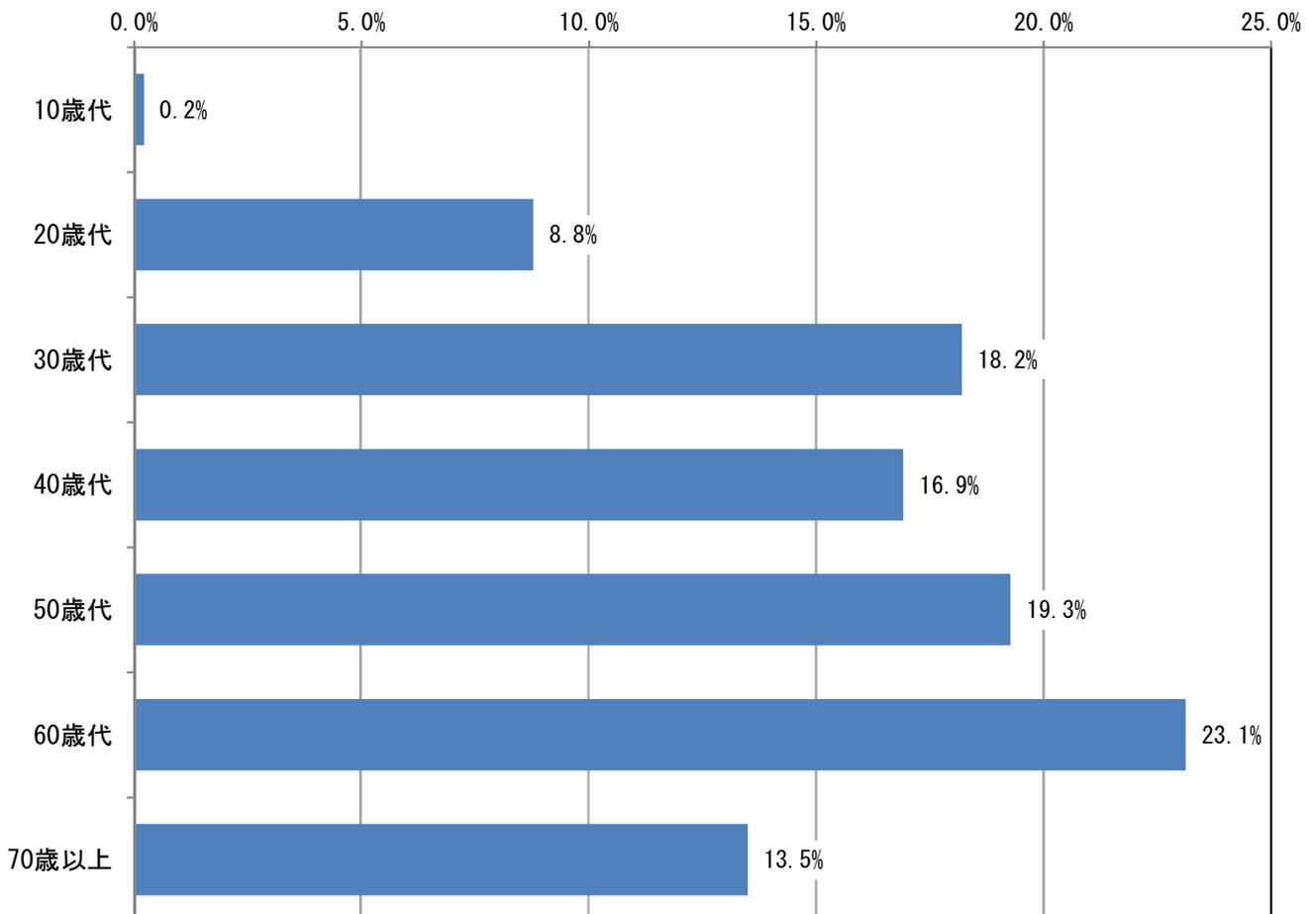
### 性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	52.2%	47.8%
回答者数	467	244	223



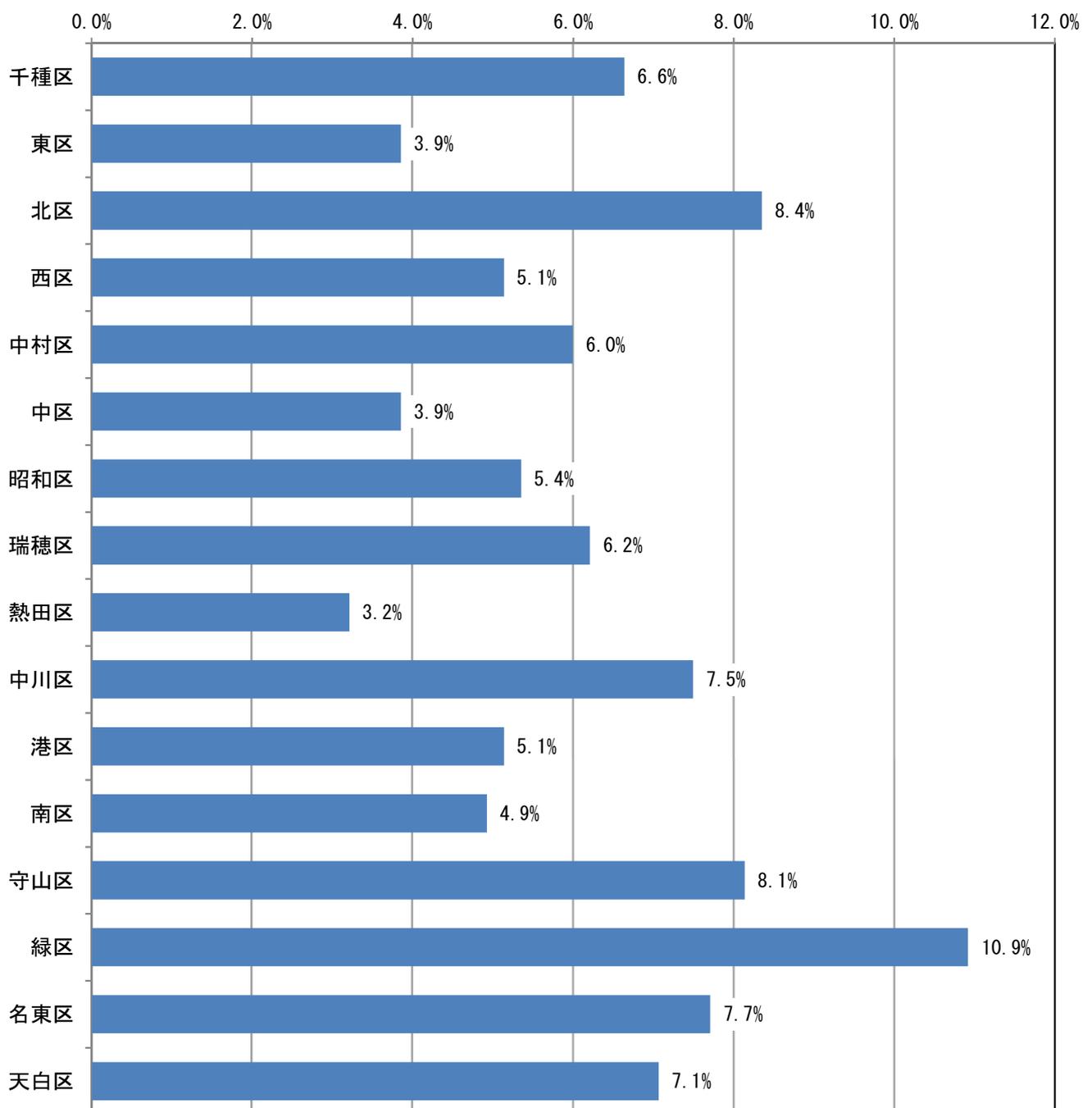
### 年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	0.2%	8.8%	18.2%	16.9%	19.3%	23.1%	13.5%
回答者数	467	1	41	85	79	90	108	63



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.6%	3.9%	8.4%	5.1%	6.0%	3.9%
回答者数	467	31	18	39	24	28	18
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.4%	6.2%	3.2%	7.5%	5.1%	4.9%
		25	29	15	35	24	23
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		8.1%	10.9%	7.7%	7.1%		
		38	51	36	33		



**【参考資料】**

派遣職員の今年度および

これまでの業務内容・職員派遣実績

## 派遣職員の今年度およびこれまでの業務内容

### (1) 陸前高田市派遣職員の今年度の業務内容

- ・防災関係業務
- ・復興計画推進業務（区画整理）
- ・道路等復旧業務

### (2) 陸前高田市派遣職員のこれまでの業務内容

- ・バス路線や鉄道などの交通政策の調整
- ・財務システム及びデータの復旧
- ・市内LANの構築、情報ネットワークの復旧
- ・り災家屋の調査、土地関係のデータの復旧
- ・戸籍・住民票、国民健康保険、生活保護、介護保険、家庭ごみ収集等の行政サービスの回復
- ・被災した保育所、子育て支援センター等の再開
- ・災害保健支援チームの総括、被災者に対する保健指導等の実施
- ・震災復興計画の策定
- ・農業・林道関係のデータの復元
- ・被災した小中学校の施設の応急復旧
- ・防災行政無線の復旧、地域防災計画の改訂
- ・水道事業の運営事務及び被災した水道施設の復旧
- ・産業労働業務（中小企業振興、産業振興）
- ・観光交流・振興業務

## 職員派遣実績

(1) 派遣人数 (令和3年8月末現在)

(延べ人数)

派遣先自治体	年度										
	平成								令和		
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	02	03
岩手県陸前高田市	144	16	13	11	8	11	13	12	12	12	6
岩手県 (県庁)	8	1	2	1							
岩手県宮古市			3	1	1	1					
宮城県仙台市	1	4	4								
宮城県気仙沼市				1	1	1	1	1	1		
小計	153	21	22	14	10	13	14	13	13	12	
合計	291 名										

(2) 被災地域支援費

主に、派遣職員人件費 (旅費、超過勤務手当て)、および現地調整、産業支援、医療支援、報告会等開催などに係る経費 (単位：万円)

	年度									
	平成								令和	
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	02
実績額	13,300	4,255	4,848	3,240	2,445	2,191	2,196	2,949	2,087	3,717

※ 令和2年度は決算見込額